



見を交わした。大橋主査は「道産材を増やそうと考える上で一番の課題は、北海道の集

ワークシヨップではベニアハウスの組み上げを体験

藤田部長は「今は大量生産の時代ではないので、特徴を持ちながら小ロットで展開するという

ることから、土にセメントなどの固化材を混ぜて地盤を固く改良する。

にコミュニケーションできる。接客スキル試験制度を設け、試験に合格した社員だけが同ブランドを販売できるようにする。

トプコン(本社・東京)は、IoTで測量機のリモートサービスを実現し、機器の健康状態や稼働状況を遠隔監視できるユーザーサポート機能

# モチベーションの高さ魅力

カワテックスは、技能実習などを活用してベトナム人を受け入れてい

河戸社長は18年の在留資格者は約263万人、このうち技能実習生は約29万人に上ると説明。一方、法務省による技能実習生の失業者数は14年で約4800人、その後は受け入れ増加に伴い、17年で約7000人、18年で約9000人と増えている。最低賃金違反、時間外労働などの割増賃金不払いといった会社側の要因が多いことを指摘した。

また、事故などを含む死亡事案に関しては、初期教育が重要と強調。言葉が分からず、ちょっとした誤りだけがする可

能性がある」と注意を呼び掛けた。外国人との密なコミュニケーションを積極的に図り、事故を未然に防ぐ体制の構築を訴えた。

続いて岸下副長は、合弁企業設立前に設備や経験豊富な職員が整っている。外国人材を受け入れる魅力に関しては、よく

る日本で短期滞在ビザを働く」という点を挙げ活用して研修を開いたと説明。15年から団体監理型で実習生3人を受け入れ、その後は実習後に原則現地法人に戻る約束の企業単独型で4人、ことし1月には企業内転勤で海外関連会社から1人を受け入れられている。

上達も早く、やる気のない日本人より、やる気のある外国人の方が魅力的と思われれるのでは」と説く。

一方で、複数の課題を挙げる。まずは日本語対応の面として、外国人宿舎に行ってみると、容器的形が似ていたアイロンのりと室内用消臭剤、酢と油を間違えて使用している、「日用品など日本語表記しかない物は見た目で判断するしかない状況にある」と日常生活での対応の難しさを語る。

日本人と同一賃金とするよう基準を厳格化した技能実習法では「監理費なども含めると、本当に日本人より安価なのか」と指摘した。

## 外国人材活用へ

同友会札幌国際ビジネス研究会から

下

# カワテックスが実践報告



外国人材の魅力などを伝える河戸社長(左)と岸下副長

「休日も寝ているより働きたい」という意思が強く、稼きたいという意思がモチベーションに影響するののか、技術や日本語の上達も早く、やる気のない日本人より、やる気のある外国人の方が魅力的と思われれるのでは」と説く。

材に期待される「安価な労働力」の点についても疑問を投げ掛ける。同社の団体監理型による受け入れは、旧法の入管法に基づいた費用の時代だったが、3年間の費用を月額で見ると給料と監理団体への費用合わせて20万円程度。しかし、これに実際は時間外労働や賞与も加わり、さらに数万円増える状況だったと振り返る。

## 洗練された

TOTO混合

TOTOは、台付きシングル混合水栓と台付き2ハンドル混合水栓のグローバル統一モデル6シリーズ



## 測量機

リモ